



木質ペレットとは

- 間伐材や製材等の木くずを破碎して木粉にし、水分を取除いて（乾燥して）、粒状に高圧で固めて作った木質燃料です。
- 木質ペレット燃料は、ストーブやボイラなどの燃料として注目されています。



バイオマスとは？

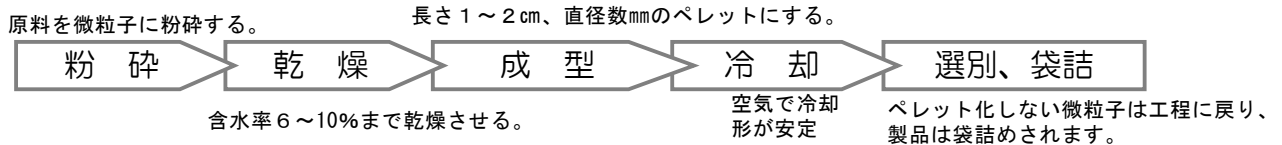
- 自然が作り出す植物や動物などの生物（有機性）資源のことをバイオマスと言います。
- バイオマス燃料は、化石燃料とは違って、同じ場所で再生産可能で循環的に利用でき、燃焼させても地球温暖化の原因となっている二酸化炭素を新たに増大させません。地球温暖化を防ぎ、環境にやさしいエネルギーとして利用することが進められています。

ペレット Q&A

？ 1 ペレットは何からできているの？

- A** 森林を育成する中で伐採される間伐材や、木材を柱や板材に加工する際に発生する製材端材などを原料にして、粉碎、乾燥、圧縮、成型したもので、まるごと木材100%。
木材に含まれているリグニンという成分を熱で融解し固着させることで成型するので、接着剤などの化学製品や添加物を一切使用していません。

ペレットの製造工程



ペレット造粒機



製造されたペレット

？ 2 ペレットの特徴は？

- A** 直径が6mm程、長さは1～2cmの円柱状（粒状）の固形燃料です。乾燥しているので取り扱いも簡単で、燃料補給などで手が汚れたりしにくい。石油と比べて約3倍の貯蔵スペースが必要とされますが、液体と違い漏れたりする心配はなく、いやな臭いもありません。
チップよりは発熱量が高く、輸送や貯蔵に適しています。また、薪に比べ材質・形状・含水率が一定で、重量あたりのエネルギー量が多く、水気に気をつければ、長期の保存もできます。
乾燥させ含水率が低いこともあり、燃焼時に有害物質の発生が少なく、地球環境の保全に役立つ優れたエネルギーです。

? 3 ペレットの種類は？

A ペレットには、木の皮を含まない幹の部分为原料とした『ホワイトペレット』、木の皮の部分を多く含む『バークペレット』と、木の皮・幹部が混ざった中間の『全木ペレット』の3種類があります。

? 4 ペレットはどこで買えるの？

A 現在、長野県内にペレット製造工場は3箇所あり、そのうちの1箇所が飯田市内にあります。
地域で発生する間伐材などを原料にしてペレットが製造され、供給されています。

南信バイオマス協同組合

(TEL: 0265-27-3553)

10kg入袋：工場渡し価格400円(税別)、H23.9現在
配達の場合別途料金、
500kgのフレコンバック入りもあります。



飯田市内のペレット工場

? 5 灯油と比べると？

A ペレットの発熱量は約4,300kcal/kgなので、灯油1リットルに対しペレットは1.9kgで同じ熱量と言われます。
仮に、灯油小売価格が80円/ℓ(税別)の場合、発熱量で比較すると、ペレットの方が灯油より安くなる計算です。
ペレットストーブを暖房で使用した場合、1シーズン(4ヵ月)で約1,000kgのペレットを使用します。

未利用材の活用という視点からも、
「木質バイオマス」エネルギーのペレットが注目されています。



木質ペレットは、ストーブやボイラーなどの燃料として利用されています。